

Ⅶ 校内研究計画

鏡山小学校研究計画の概要

1 研究主題

主体的にいきいきと学ぶ児童の育成 ～仲間とつながる対話活動の工夫～

2 主題設定の理由

社会の急激な変化を受け、都市化や過疎化の進行、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化等を背景とした地域社会等のつながりや支え合いの希薄化により、「地域の学校」「地域で育てる子供」という考え方が次第に失われてきている。児童においても、人間関係が希薄となり、お互いのよさやちがいを認め合う気持ちをもてなくなり、不登校、いじめ、規範意識の低下など、本校でも憂慮すべき状況がある。

本校では、過去2年間にわたり、国語科の「読むこと」の内容において、言葉による見方・考え方を働かせるような言語活動を取り入れることで、的確に読み取る力の育成を目指した。特に昨年度は、「言葉を手掛かりにして、自分の考えを深化させるような話合いの工夫」に焦点化し、研究を進めてきた。2年間の研究を通して、①児童にとって魅力的な「単元を貫く言語活動」を設定することで、児童は目的意識をもって活動に取り組むこと、②言葉に着目して自分の考えをもたせることで、根拠をもって自分の考えをもたせることにつながるということ、③自分の考えを表出させる場を設定することで、自分の考えを深化させることにつながることを明らかにした。

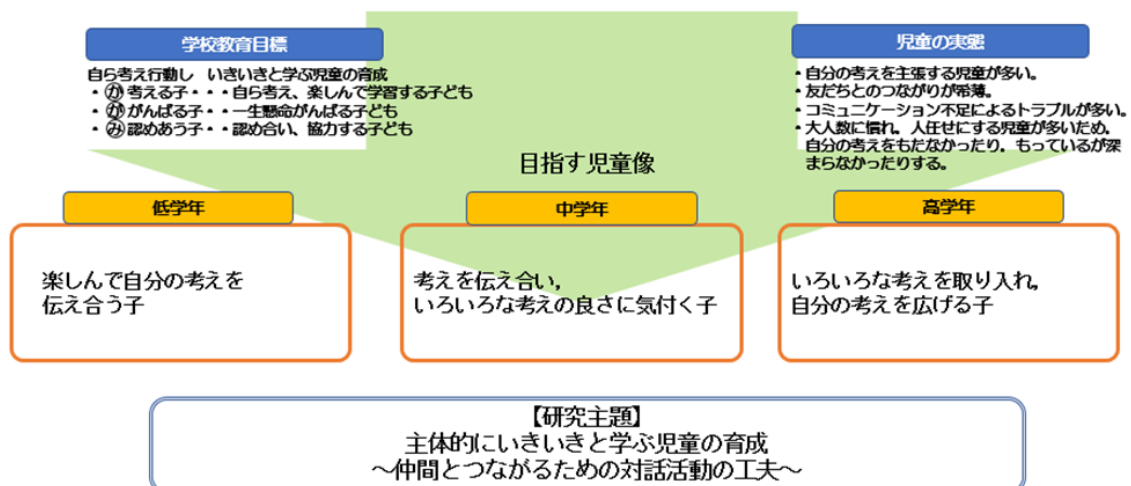
現在の児童の様子を見ていると、普段の生活で仲間と一緒に過ごしているが、自分の学級の欠席児童を把握していなかったり、委員会活動で欠席児童のサポートができていなかったりと周りの仲間への意識が希薄であると感じる場面がある。教師がいないと児童の集団活動が成り立たないことがあり、教師主導の活動となってしまうこともある。また、児童間でコミュニケーションを上手にとれずにトラブルになってしまう場面も多くある。そのため、授業の中で児童が仲間と対話活動を通してつながることで、お互いに配慮や仲間意識が生まれ、児童の主体的な活動につながると考えられる。

そこで、今年度は「主体的にいきいきと学ぶ児童の育成～仲間とつながる対話活動の工夫～」を研究主題として、授業での対話活動の改善を図り、周りの仲間を意識し、主体的な活動ができる児童の育成を目指す。今年度は、新たな校内研究のスタートの年であるため、対話活動を中心とした授業づくりに取り組むことや目指す児童像を共通理解することで、全職員が同じ目標に向かって研究を進めていく。また、自分の興味・関心がある教科について研究したり、他の教員の研究をすぐ実践できるような環境を整備したりすることで、それぞれの教員が参加の意義を感じるような校内研究を行っていきたい。

3 研究の目標

各教科において、仲間とつながり、自分の考えを広げる対話活動になるような工夫や学習活動の在り方を探る。

4 研究の構想図



5 研究計画

(1) 具体的な取り組み内容

- ① 研究推進部会において、発達段階における目指す児童像を明確にしていく。
 - ア 新学習指導要領や本校の児童の実態から目指す児童像を明らかにしていく。
 - イ 研究推進部員を中心にして、全職員の目指す児童像の共有化を図る。
- ② 職員一人ひとりが、1年間で実践する教科を決め、継続して取り組むことで、成果や課題を把握する。
 - ア 各教科で仲間とつながる対話活動の工夫を考え、年間を通して実践する。
 - イ 授業中の児童の様子やノートやワークの記述等から、対話活動の工夫を修正する。
 - ウ 実践する教科でグループに分け、進捗状況の確認や、意見交換等を行う。
- ③ 職員それぞれの取り組みを共有するための環境を整備する。
 - ア 職員一人ひとりが実践授業を行い、実践の分析を行う。
 - イ 授業公開については、掲示板等で示し、気軽に参観できるようにするとともに、授業者に意見等がフィードバックできる環境を作る。(略案・授業後のチェックシート等)

※45分間の授業をすべて見に行くという意味ではない。
 - ウ 実践後に研究内容や児童の変容を振り返り、個人で校内研究のまとめを作成する。
 - エ ア、イ、ウを通じて確立したものを、グループでまとめ、報告する。
- ④ ①から③までの取り組みを分析・評価し、成果と課題を見出す。
 - ア ③ウの報告を全体で交流し、今後に生かす成果、今後取り組むべき課題を整理する。
 - イ 1年間の研究の過程を、研究冊子(PDF)としてまとめる。

(2) 研究組織

研究推進部部員で組織する。必要がある場合は校長、教頭、主幹教諭、教務を加えて、拡大研究推進委員会を開く。また、特別支援部との連絡調整は適宜行う。

【役割分担】

- ・校内研 全体構想(緒方・坂口)
- ・アンケート(川原・吉永)
- ・フィードバックシート(吉田・伊藤)
- ・研究のまとめ(坂口・牧瀬)

(3) 日程

月	日	曜	内容(◎校内研, □部会, ★授業研, ・職員会議等)	備考
4	1	金	□6部会(研究についての提案)	
4	14	木	□6部会(研究についての再提案・アンケートについて)	
4	20	水	・職員会議(研究についての提案, グループ分けについて)	
5	26	木	□6部会(研究授業の進め方・授業チェックシート・略案・アンケート)	
			◎校内研(講話①対話活動を行うための学級経営について)	講師招聘予定
6	15	金	◎校内研(実践授業の進め方・アンケートについて)	
7	7	木	◎校内研(実践授業の準備等)	
			◎校内研(講話②授業づくりについて)	講師招聘予定
			◎ミニ校内研修(講話③対話活動について)	講師招聘予定
8	3	水	◎校内研(実践授業の準備等)	
9	21	水	◎校内研(実践授業準備等)	
			☆公開授業期間	
			◎校内研(講話④校内研のまとめ)	講師招聘予定
12	7	水	・職員会議(校内研のまとめの提案)	
2	8	水	◎校内研(研究のまとめ)	
2	24	金	□6部会(拡大研究推進委員会・来年度の研究について)	
3	8	水	・職員会議(来年度の研究について)	

※あくまで予定です。